

第44回 スポーツの集い開催要項

1 趣 旨

地域住民のスポーツへの参加意欲を高め、スポーツを通して住民の連帯性を培い、たくましい心と体をつくることを目的として実施する。

2 主 催 陸別町教育委員会

3 後 援 陸別町体育連盟

4 協力機関 各自治会

5 期 日 令和2年11月5日(木)～11月13日(金)

6 会 場 陸別中学校体育館

7 競技種目 (競技開始時間は19:30とする)

- ・ミニバレー 11月 5日(木)
- ・バレーボール 11月 6日(金)
- ・カローリング 11月10日(火)
- ・フロアーリング 11月11日(水)～12日(木)
- ・体力測定会 11月13日(金)

8 参加料 1種目参加の場合 100円、2種目参加の場合 150円
3種目参加の場合 200円、4種目参加の場合 250円

※内訳：参加料は種目数に関わらず1人50円。保険料は1種目50円。

※体力測定会の参加料は無料。ただし保険料50円を徴収します。

(例：体力測定のみ参加の場合は保険料50円、2種目+体力測定参加の場合は150円+50円=200円)

9 出場資格

- (1) 勤労青少年以上とする。
- (2) 町内に居住するものであること。
- (3) 出場種目数に制限はありません。
- (4) 年齢制限のある場合における年齢計算は令和2年11月1日現在とし、年齢の上から下への出場は認める。

10 競技方法

- (1) 町内会対抗とし、各種目とも出場チーム数の制限は行わない。ただし連合チームを編成する場合は、登録者個人が本来出場すべき町内会の承諾を得ることを条件として認める。
- (2) 組合せは主催者が抽選により決定する。
- (3) 競技規則は別に定める種目別実施要領による。ただし出場チーム数により内容が変更されることがある。

11 表 彰

上位入賞チームには、賞品を授与する。

12 その他

- (1) 参加申込み方法、大会日程は別に定める。
- (2) 参加選手は自己の健康管理に充分留意すること。
- (3) 予選のある種目で、決勝トーナメントに参加資格があるのに都合で参加できないと前もってわかった場合は、次順位チームが参加できる。

13 新型コロナウイルス関係

- (1) 参加者の競技中以外のマスクの着用をお願いする。
- (2) 各自、手指の消毒をお願いする。
(中学校体育館入り口には手指消毒用のアルコールを設置します。)
- (3) 参加者の当日体温測定をお願いする。
(37.5℃以上ある場合は、参加を遠慮していただきます。)
- (4) 状況を見て、体育館の換気を行う。
- (5) 競技終了後の体育館・使用道具の消毒は教育委員会職員が行う。

* 連合チームの編成でお困りの時は教育委員会にご相談ください。

種 目 別 実 施 要 領

◇◇◇ミニバレー◇◇◇ 期日：11月5日（木）

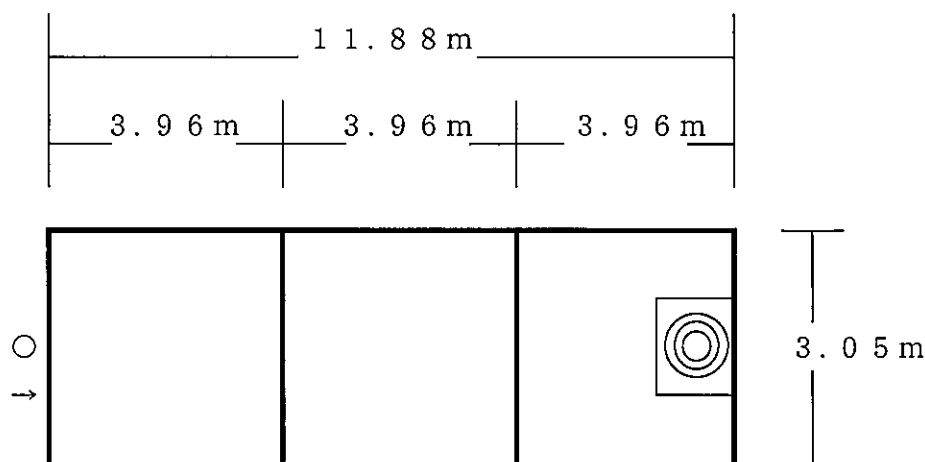
- (1) チーム編成は混成のみ（40才未満の部・40才以上の部、女子年齢制限無し）とする。なお、混成は「男子2名、女子2名」または「男子1名、女子3名」のいずれかとする。
- (2) リーグ戦の場合、①勝敗、②得失点差、③代表者ジャンケンの順で順位を決める。
- (3) 1試合10分制とする。
- (4) サーブはエンドライン後方から1本とし、サーブ権のある間は同一選手が行う。ただし、サイドラインの延長内に限る。
- (5) ジャンプサーブは禁止する。
- (6) オーバータイムス、ダブルコンタクト、ホールディング、オーバーネット等の反則をおかした場合、サーブ権が移行するか相手の得点となる。
- (7) 混成チームのプレイヤーの位置は、男子女子ともに対角線に位置する（男子1名、女子3名の場合はこの限りでない）。
- (8) その他は全日本ミニバレールールに準じて行う。
- (9) 審判は、大会本部で割振る。
- (10) 組み合わせは出場チーム数により主催者で決定する。

◇◇◇バレーボール◇◇◇ 期日：11月6日（金）

- (1) 試合は6人制とし（ローテーション有）、ゲーム中は必ず1名以上の女子と満40才以上の男子（又は女子→年齢制限なし）1名以上がコート内にいること。
- (2) コートは6人制コートを使用し、ネットの高さは2m24cm、ボールは5号ボール使用する。
- (3) サーブは1本とし、どの方法によってもよい。
ネット・インのボールは有効として認める。
- (4) レシーブの平手は有効とするが、ヒットさせること。
体の一部であれば、どこでレシーブしてもよい（足等も可）。
- (5) 試合方法は15点ラリーポイント3セットマッチとする。14点で同点の場合はデュースとして、以降2点差で勝ちとする。3セット目は8点でチェンジコートをする。
- (6) その他は令和2年度日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。
- (7) 審判は、試合のないチーム、または大会本部で行うこととする。
- (8) 組み合わせは出場チーム数により主催者で決定する。

◇◇◇カローリング◇◇◇ 期日：11月10日（火）

- (1) 競技者は1チーム3名で3個のジェットローラ（以下「ローラ」という）を使用しゲームを進める（1人1個のローラ）。
登録は5名までとし、送球順は自由である（ゲーム中の選手の変更はよいが、選手は必ず1回ローラを投球すること。また、交替した選手の再出場は認めない）。
- (2) コートは11.88m×3.05mのテープでフローアに設置する（バドミントンコート半面を使用）。投球地は短辺の中央外線に立ちローラを投球する。
- (3) ローラは、コート内3.96m～11.88m以内に投球位置から投球する。
- (4) ローラは、投球位置からどのような体勢で投球してもよい。
投げたローラは、移動されてもゲーム終了までそのままの状態置く。
ライン上のローラは有効とする。ローラは1人1投。
- (5) ローラによる不公平を防ぐため、イニングごとにローラを交換する。
（例～赤黒の場合、1イニング目に赤を使用したチームは、2イニング目は黒のローラを使用する）
- (6) 最初にジャンケンで先攻・後攻を決め、1イニング目は先攻チーム・2イニング目以降は勝ちチームの順でローラを投球する（各イニング内の投球順番は変更してもよい）。
- (7) 得点の計算は、両チームのローラを全て投球し終わった後、ポイントゾーンに最も近いローラのチームが相手チームの一番近いものより近いもの全てが得点となる。なお、同距離の場合は、両チームにポイントゾーンのポイントが与えられる。
- (8) 両チームのローラがいずれもポイントゾーン上にはない場合は引き分けで、両チームの得点は0点で次のイニングに進み、先攻の順序は同じとする。
- (9) ポイントゾーンの青、黄、赤の間の白色上に停止した場合は、低いポイントを採用する。5イニング終了時に総点数の多いチームが勝ちとする。同点の場合は、チーム代表者1名によるジャンケンで勝敗を決定する。
- (10) 組み合わせは出場チーム数により主催者で決定する。

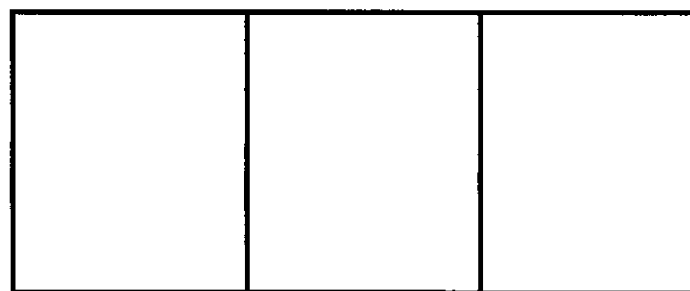
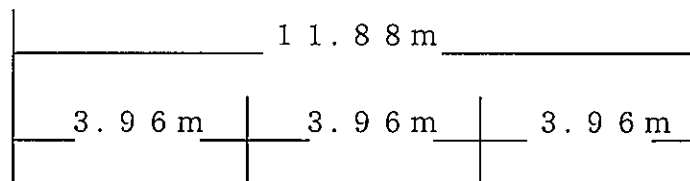


◇◇◇フロアーリング◇◇◇ 期日：11月11日（水）～12日（木）

- (1) 競技者は1チーム5名で5個のホースリング（以下「リング」という）を使用し、ゲームを進める（1人1個のリング）。
登録は7名までとし、投げる順番は自由である（ゲーム中の選手の変更はよいが、選手は必ず1回リングを送球すること）。
- (2) コートは11.88m×3.05mのテープでフロアーに設置する（バドミントンコート半面を使用）。投げる位置は短辺の外側とする。
- (3) 標的（卓球ボールの変形したものにビニールテープを巻いた物）は、コート内3.96m～11.88m以内に送球位置から投げる。
標的は、2回まで投げるができる。但し、2回とも失敗したときは、先攻権が移動し相手に1点を与える。
- (4) 標的及びリングは、どのような体勢で投げてもよいが、投げた標的及びリングが静止するまでラインを踏んではいけない。
ラインを踏んでしまった場合は、1ゲーム中1人につき1回目は注意とするが、2回目以降は反則とし投げたリングを無効とする（投げたリングはコートの外へ置く）。反則となった場合は、コート内の標的及びリングをそのままの状態（反則となったリングが投げられた後の状態）でゲームを進める。
投げたリングは、移動されてもゲーム終了までそのままの状態で置く。
リングは1人1投。
- (5) リングの形・重さ等による不公平を防ぐため、セットごとにリングを交換する。
（1セット目に青を使用したチームは、2セット目は黄のリングを使用する）
また、セット毎に投げる場所を換えることとする。
- (6) 最初に先攻・後攻を決め、1セット目は先攻チームから投げ、2セット目は1セット目の後攻チームから投げて試合を進める（各セット内の送球順番は変更してもよい）。
リングで標的を捕らえた場合（囲んだ場合）は標的から外し、そのリングを投げた人が好きな位置に移動させる。但し、標的とリングは接していなければならない。
- (7) リングを投げて標的にあたり標的が相手チームのリング内に入った場合は、相手チームの人がリングを移動させる。但し、標的とリングは接していなければならない。リングは重ねないように置くこととする（やむを得ない場合を除く）。
- (8) 標的の上にリングが乗った場合は、そのままにしておく。
- (9) ゲーム中、標的をコート外に弾き飛ばした場合、そのセットは終了し相手チームに「2点」または「相手チームが投げていないリングの数」のいずれか多い方を得点として与える。
- (10) 得点の計算は、両チームのリングを全て投げ終わった後、標的に最も近いリングのチームが相手チームの標的に一番近いものより近いもの全て得点となる（1個に

つき1点とする)。

- (11) 全員がリングを投げ終わり、距離が同等の場合は両チームに各1点を与える。
標的に接しているリングには全て得点を与える。
- (12) 8点先取したチームを勝ちとし、ゲームを終了する。
ただし、セットは6セットまでとし、8点に達していない場合は6セット終了時に総得点の多いチームを勝ちとする。同点の場合は、代表者によるジャンケンで勝敗を決定する。
- (13) 試合の組み合わせは主催者で決定する。リーグ戦で同率の場合は、①得失点差、
②代表者ジャンケンの順で順位を決定する。
- (14) コートは下記のとおり設計する。



3.05 m

◇◇◇町民体力測定会◇◇◇ 期日：11月13日（金）

- (1) チーム数は各自治会1チームとし、1チーム5名とする。
- (2) 各測定内容ごとに上位成績者に得点を与え、全測定のチーム合計点を競うものとする。得点配分は主催者であらかじめ決めておく。
- (3) 文部科学省が推奨する新体力テスト実施要項により実施する。
- (4) 測定内容は、下記の通りとする。

①握力	②上体起こし	③長座体前屈
④反復横跳び	⑤立ち幅跳び	⑥20mシャトルラン
- (5) 参加条件につきましては下記の通りとする。
 - ①町内在住者
 - ②令和2年4月1日現在で満20歳以上64歳以下の方。
※未成年者は保護者同伴の場合のみ参加可能とするが、総合得点には含まないとする。
- (6) 持ち物は、運動できる服装、室内用運動靴、タオル、飲み物を用意していただく。